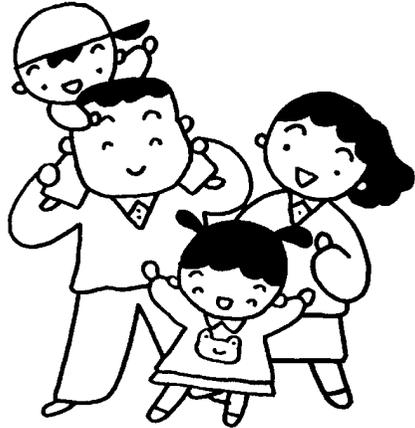


沼田市新年度予算

子ども手当支給事業は11億2,532万円



沼田市は、従来の児童手当の本市負担分をふくみ、子ども手当支給事業11億2,532万円を計上しています。民主党のマニフェストでは、「全額国負担」となっていますが、これを守らないばかりか、金額も約半分しか支給していません。財源確保のための年少者扶養控除などの廃止により、一方で増税になっており、差額が逆転して、負担増の家庭も予想されています。一般的に子どもたちの父母の意見は、「子ども手当よりも保育料や給食費の無料化などを実施した方が良い」という意見が多くなっています。

民主党政府は、この国会に子ども手当から「給食費や保育料を天引きできる」という法案を提出しています。

3ワクチン接種無料化の予算を計上 3月分は補正予算で提案

子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌の予防ワクチン接種に係る無料化財源は、新年度予算に計上されました。3月分は今年度補正予算として3月議会に提案されます。いずれも無料で受けられます。

太陽光発電設備補助金は増額

住宅用太陽光発電パネルの設置に対する市単補助金は、今年度から約100万円増額し、500万円を計上しています。先着順で受け付け、予算が終わり次第打ち切りますので、申し込みはお早めをお願いします。



住宅リフォーム助成制度学習会場で、左から長谷川前橋市議、田中宮古市議、井之川博幸市議

出産祝金支給を廃止へ

沼田市は、来年7月1日から第3子以降の出産に支給している祝金（1人20万円）を廃止すると民生福祉委員協議会に報告しました。沼田市は、新年度から保育料の軽減制度のうち、3子以降の保育料の無料期限を「3年間だけ拡充」とするという方針を決めていますが、そちらへの財源移行という説明がありました。



しかし、少子化対策として実施してきた「祝金制度」の廃止は、第3子以降の保育料無料化拡充で、3子以上の子どもを産み・育てたいと思った子育て中の親たちの思いにブレーキをかけるマイナスの作用しかありません。予算額も、今年度の「出産祝金」は1,400万円でしたが、「保育料無料化拡充」の新年度予算は850万円程度です。

井之川博幸委員は、少子化・子育て対策として、金額的に後退することなど問題点を指摘し、再考を求めましたが、当局は政府が実施する「子ども手当」があることや、ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種が3月から無料になるなどを「子育て支援」の拡充と捉え、出産祝金支給の廃止を正当化する答弁を行ないました。

住宅リフォーム助成制度学習会開催 宮古市日本共産党市議団長が説明

住宅リフォーム助成制度の学習会が、日本共産党前橋市議団の主催で、前橋協立病院会議室で開催されました。この制度で大きな成果を上げ、全国でも有名になった宮古市から田中尚市議会議員が講師として参加し、宮古市の制度の説明を行ないました。

宮古市では、今年度2,700件以上の工事が対象となり、工事額は約12億円、補助金は約2億7,000万円になっています。当初1年限りの制度として実施されてきましたが、実績が上がり新年度も継続するようになったということです。ほとんどの工事を中小業者が受注しています。

2011年2月20日 No.550

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料